

2020年度（令和2年度）

福山市教育委員会会議録（第8回）

【10月28日（水）開催】

福山市教育委員会

福山市教育委員会会議録（第8回）

1 招集年月日 2020年（令和2年）10月28日（水）
午後2時00分

2 場 所 教育委員室

3 出席委員 5名

出席又は欠席	席番	名 前
出席	1	三好雅章
出席	2	菅田章代
出席	3	金 仁洙
出席	4	神原多恵
出席	5	横藤田 晋

4 会議に出席した事務局職員

教育次長兼学校教育部長事務取扱	佐藤元彦
管理部長	金尾直樹
教育総務課長	來山浩一郎
施設課長	小森満生
学校再編推進室長	藤井紀子
学校再編推進室主幹	井上誠之
中央図書館長	新延智子
学事課長	亀山貴治
文化振興課文化財担当課長	内田 実

5 会議の書記

教育総務課総務政策担当次長	須藤 誠
教育総務課職員	杉野 純一
教育総務課職員	中村 千咲

【開会時刻 午後2時00分】

- 三好教育長 | それでは、ただいまから、2020年度（令和2年度）第8回福山市教育委員会会議を開会いたします。
- 三好教育長 | 初めに、日程第1 教育委員会会議録の承認について、です。
2020年9月30日開催の2020年度（令和2年度）第7回の教育委員会会議録について、何かございますか。
- 全教育委員 | （異議なし）
- 三好教育長 | 御異議ないようですので、教育委員会会議録を承認することとし、会議終了後、委員の皆さまの署名をお願いいたします。
- 三好教育長 | 次に、日程第2 教育長の報告についてです。
教育長報告資料の1ページをお願いします。
10月2日に、学校訪問・校長等協議とありますが、先月御報告しましたように、学校へ行って授業を見て、校長、教職員等との協議を行っています。
5日には、樹徳小の学校図書館リニューアル完成式に行ってきました。コロナの感染拡大の状況の中で、リニューアルをしても完成式ができていなかったため、現在再開しています。寄附いただいた団体や個人の方などに御参加いただき、非常に喜んでいただけました。また、今後も寄附させていただきたいというような言葉もいただいております、子どもの様子を校長から伝えることで、寄附してよかったと思っただけけるよう取り組んでまいります。
22日には、Web会議で、広島県都市教育長会秋の総会を行いました。毎年春と秋に、広島県内都市の教育長と県教委が集まって協議をしています。感染防止対策の取組やGIGAスクール構想に向けた各市の取組状況の情報交換を行いました。
続いて、事務局からの報告をお願いします。
- 小森施設課長 | 3ページをお願いします。
1 福山市立桜丘小学校音楽室天井部材落下事故について、御説明いたします。
(1) 発生日時は、2020年（令和2年）10月21日（水） 午前9時20分頃です。
(2) 場所は、福山市立桜丘小学校北校舎4階音楽室です。
(3) 事故の概要についてです。
音楽室の天井に取り付けてあった大きさ3センチメートル×3センチメートルで、長さが4メートル、重さ1.3キログラムの木材が落下し、6年生の女子1名の頭部に当たったものです。
事故後、直ちに病院を受診し、目立った外傷等はなく症状は落ち着いており、受診後は、学校に戻り授業を受けております。なお、医師からは、経過観察が必要であると言われております。
10月15日、学校は、天井から木材が落ちそうになっていることに気づき、教頭が直ちに当該部材を撤去しました。その後、10月20日に教育委員会事務局管理部教育総務課の技術員が、撤去した木材を取り付けましたが、十分に取り付けられていなかったため、当該部材が落下したものです。
(4) 児童・保護者への対応についてです。

まず、児童への対応についてです。事故当日、6年生の児童に事故の概要と今後の対応等を説明しました。

22日からは、同校にスクールカウンセラーを派遣し、23日には、6年生全員と面談を行うなど、児童の心のケアに努めています。

次に、保護者への対応についてです。

事故当日(21日)、校長室で、学校及び市教委が負傷した児童の保護者に状況を説明・謝罪しました。

学校では、21日に、6年生の保護者宛、また、22日には、全ての保護者宛に、文書により事故の概要を説明しました。

23日には、保護者説明会を体育館で開催し、学校と市教委が、事故の概要や今後の対応等を説明し、謝罪いたしました。

(5) 事故後の対応についてです。

ア 落下した音楽室天井の構造調査と修理についてです。

落下事故直後から、専門業者と合同で落下箇所を調査しています。24日(土)には、建築技師の立ち合いのもと、当該部材と天井材の一部を撤去し、下地の構造などの詳細調査を実施した後に、最適な工法を決定し、修理が完了しました。

イ 全校一斉点検の実施についてです。

(ア) 学校による緊急点検です。

まず、22日から23日の間、学校が、教室・廊下など児童生徒が通常利用する箇所の天井の状況を目視で点検しました。

(イ) 建築技師による一斉点検です。

23日からは、事故のあった構造と同じ音楽室については、建築技師による点検を30日の完了を目途に実施しています。

ウ 学校による日常点検及び専門業者による定期的な法定点検並びに修理等の対応についてです。

日常点検と併せて、専門業者による点検を実施し、要修理箇所が確認された場合には、迅速に対応するとともに、今回のケースのような落下等の事故の恐れのある部分の修理については、専門業者に依頼するなど、適切な対応を行っていくこととしています。

以上です。

新延中央図書館長

5ページを御覧ください。

図書館の特別整理期間の実施について、御説明いたします。

福山市図書館条例第3条の2 別表第2に規定する特別整理期間による休館日を、次のとおり実施するものでございます。

この期間中に、すべての図書や視聴覚資料を一点ずつ図書館システムと照合する蔵書点検を始め、館内の施設設備の点検や補修、展示物などの大規模な模様替えなどを実施します。

日程についてですが、図書館を4グループに分けて1月27日から順次実施いたします。

4グループに分けて休館することで市民の利便性を図ることとしています。

中央図書館は、2021年(令和3年)1月27日(水)～2月1日(月)までの6日間実施いたします。

松永図書館、かんなべ図書館の2館は、2月5日(金)～2月9日(火)までの5日間、東部図書館、新市図書館の2館は、2月17日(水)～2月21日(日)までの5日間、北部図書館、沼隈図書館の2館は、2月25日(木)～3月1日(月)までの5日間実施いたします。

周知につきましては、広報「ふくやま」1・2月号、市・図書館ホームページへの掲載及び館内掲示等で行ってまいります。

<p>亀山学事課長</p>	<p>以上でございます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>6 ページをお願いします。</p> <p>3 指定学校変更申立許可運用基準の一部改正について、説明します。改正理由は、これまで、多治米小学校及び誠之中学校区である西新涯二丁目1番～22番の地域では、兄弟姉妹要件、教育的配慮などによる指定学校変更申立許可や、学校選択制度等により、ほとんどの生徒が城南中学校に就学している状況にあります。</p> <p>平成9年1月27日付文部省通知「通学区域制度の弾力的運用」等を踏まえ、保護者の意向や就学の実態に鑑み、西新涯二丁目1番～22番に居住している児童生徒の保護者から城南中学校への指定学校変更申立があれば、これを許可することとしたものです。</p> <p>その他、学校再編に伴い、学校名の変更などを行っています。</p> <p>改正内容については、児童生徒が居住していることをもって、教育委員会が指定校の変更を認める地域に次の地域を追加するものです。地域は、西新涯二丁目1番～22番で、指定中学校は誠之中学校ですが、ここに、変更許可学校として城南中学校を加えます。</p> <p>また、学校再編に伴う改正としては、教育委員会が変更を認めている地域から、駅家町法成寺、服部池付近を削除し、駅家東小及び服部小を駅家北小に、今津小を遺芳丘小に改めるものです。</p> <p>実施日につきましては、2020年（令和2年）10月15日です。</p> <p>以上です。</p>
<p>三好教育長</p>	<p>御意見、御質問はありませんか。</p>
<p>金委員</p>	<p>落下事故について、状況とその後の対応を報告いただいたところですが、今後の再発防止として、学校による日常点検及び専門業者による定期的な法定点検とありますが、今までもなされているんですね。</p> <p>今回も同じような対応をするということで書かれていますが、今後どうしていくのかが肝心なところではないかと思ひます。</p> <p>学校の整備をする技術員が判断して、専門業者に依頼して調査していく基準を、今は定めていないのか、どうするのか。そのあたりがはっきりしていないのではないかと思ひます。</p>
<p>小森施設課長</p>	<p>点検について、専門業者による法定点検を、3年に1回、建築基準法で定められていますので、これはきっちりやっています。</p> <p>学校による日常点検ですが、毎年やっています、今回のように緊急的に見つかったといった場合の対応については、先ほど御質問がありましたように、天井からぶら下がっているようなものをみつけた場合、そこを誰がどのように修理していくのかというのは、現在教育総務課と施設課で協議して、そのルールづくりを進めているところです。</p> <p>もう1点の基準についても、同様に協議を行っています。学校施設は毎日使っているということもありますので、壊れたらすぐ直していくという対応も必要です。そのためには、教育総務課の技術員による対応、例えばドアが壊れたらすぐ直すといった対応も必要です。一方、今回の事案を受けて、やはり事故につながるような部分の修理については、施設課の技師であったり、点検業者であったり専門家が判断して、誰がどのように直すのかを決めていきたいということで、直し方などのルールづくりを急いでやっています。</p>
<p>神原委員</p>	<p>技術員が修理を行ったが、修理が十分に行われていなかったためという</p>

	<p>話だったのですが、不十分な修理というのはどのような内容だったのでしょうか。</p>
小森施設課長	<p>今回落ちた部材については、実際に剥がして現場を確認しました。建築当時は、接着剤で取り付けてありましたが、今回修繕した方法としては、接着剤は用いずに、業務用の両面テープを用いて取り付けています。念のため、両端と真ん中部分の数か所を釘で打って留め、留めた後も、ぐらつきがないか点検・確認をしていたということです。</p> <p>取り付け方法の両面テープが、強度が十分満たされていなかったというのが今回の事故の原因だと考えています。</p> <p>こうした事案もありましたので、先ほど委員から話があったように、見た目だけでは判断できませんので、専門的な知見も交えながら、どういった修理がいいかということは、教育総務課と連携を図りながら進めていきたいと思っています。</p>
金委員	<p>図書館のことで、今回の整理期間とは関係ないのですが、教えてほしいことがあります。</p> <p>貸出履歴の消去の時期がいつかということと、個人情報なしに、どのような本が借りられているのかというのは、どのように整理されているか教えてください。</p>
新延中央図書館長	<p>市民の方の貸出履歴のデータについては、システムの中に累積しています。昨年度、システムは消去していますので、今現在の履歴はシステムの中に累積している状況です。</p>
金委員	<p>ということは、何の本を借りたかという履歴は残っているということですか。</p>
新延中央図書館長	<p>はい。借りた履歴というのは、いくらか残っています。</p>
金委員	<p>それはまずいんじゃないかと思いますが。</p>
新延中央図書館長	<p>借りた履歴は、ただちに消えるわけではないです。</p>
金委員	<p>そこについて、どのようにルールづくりをしているのかを教えてください。</p> <p>他市では、返却と同時に消すというところも多いと思うのですが、それをいたずらに1年も2年も置いておくというのは、よくないと思います。</p>
新延中央図書館長	<p>いたずらに置いているわけではないのですが、資料の持ち合わせがないため、いつまでに消すというのはすぐお答えできません。</p> <p>申し訳ありません。</p>
金委員	<p>そこはきっちりされた方がいいと思います。</p> <p>やはり、思想・信条に直接かかわることだと思いますので、そこをきっちり整理するということと、一方では、どんな本が何冊借りられているのかという統計も必要ですし、その整理をしっかりとお願いしたいです。</p>
新延中央図書館長	<p>わかりました。</p>

館長	貸出履歴の期間について、長い時間置いておくというわけではないのですが、すぐにどの程度というのをお答えできず申し訳ありません。
金委員	一番簡単なのは、返却と同時ですよ。どうせ消さなければならぬのであれば、そのルールをきっちりしないとイケないと思います。
菅田委員	今の返却履歴なんですけど、私は個人的には、どういう本を読んだかという履歴は残しておいてほしいです。そう思って借りてる人もいます。直ぐ消すじゃないにしても、1年だったり、何か月だったり、期間を決めて消すのもいいのではないのでしょうか。 また同じ本を借りてしまったり、この間どんな本を読んだかというのを確認したりというのは、割と本を読んでいる人にとっては必要な機能ではないかと思います。
金委員	それは個人の責任においてやるべき仕事であって、行政側がまとめるべきものではないと思います。守るべき個人情報の方が上に行くと思います。何をどれだけ借りたかという情報を、自由に職員がわかるというのはいかがなものかと思います。
菅田委員	前は図書カードとかで借りていたと思うんですが、それで借りると履歴が残るので、市民にとってどっちの方が、利益があるかというのが大切だと思います。確かに、何年も取っておくというのはよくないと思いますけど、その利便性を調査されてから決めたらいいのではないかと思います。
金尾管理部長	図書館の貸出履歴については、個人情報に係るものと、統計上の履歴とを切り分けて考える必要があります。今の段階ではお答えできませんが、他市や他課の状況を見ながら、福山市としてのルールづくりを行っていきたいと思います。
三好教育長	他にいかがですか。
全教育委員	(なし)
三好教育長	それでは、次に、日程第4 議第50号 (仮称) 千年小中一貫教育校の名称についてを議題とします。説明をお願いします。
藤井学校再編推進室長	資料1の1ページをお願いいたします。 議第50号 (仮称) 千年小中一貫教育校の名称について、御説明いたします。 内浦小、内海小、能登原小、千年小及び常石小学校並びに内海中及び千年中学校を再編し、義務教育学校として設置する(仮称)千年小中一貫教育校の名称につきましては、本年6月に設置した、開校準備委員会において協議を進めました。 2ページの検討の経過のとおり、第1回委員会では、新しい学校づくりに地域の意見を反映させるため、対象学区の地域住民、児童生徒、保護者及び教職員を対象に、校名アンケートの実施を決めました。 第2回委員会では、応募総数316の中から、委員の代表者による絞込み協議を実施することにし、後日、会を持ち、代表委員が、応募者の校名に込められた想いを踏まえ、15候補を選考しました。 そして、第3回委員会において、委員の投票で8候補を選び、教育委員

会会議に提案することを決定しました。

その提案を受け、名称の選考を行うものです。

提案のあった名称候補は、表のとおりです。

「沼隈内海学園」は、沼隈町と内海町の7つの小中学校が一つになった新しい学校であることが分かりやすく、場所が特定でき、地域の伝統や文化をイメージできる。

「沼内学園」は、沼隈と内海の頭文字をとり、分かりやすく、沼隈町と内海町の人々が力を合わせて地域に貢献し、地域から愛される学校にするという決意が込められる。

「藤波学園」は、藤波が、内海大橋のたもとにある敷名に関わり、平家物語の歌に詠まれており、藤の花のように子どもたちが一つになって新しい学校の歴史や文化を作りながら成長して欲しいという願いが込められる。

「青海学園」は、瀬戸内の美しく穏やかな海のもとで育まれる子どもたちに、健やかに成長して欲しいという願いが込められ、海をイメージした名前で響きが良い。

「くちなしの瀬戸学園」は、沼隈町と内海町の海は「口無しの海」と呼ばれ、穏やかな学校のイメージにつながり、菅茶山が、漢詩に湾の美しい風景と歴史を読み込んでいる。

「想青学園」は、若さを青に見立て、将来に想いを馳せながら学校生活を送って欲しいという願いが込められ、青から広がるイメージが、子どもたちに未来を切り開いて欲しいという願いにつながる。

「七海学園」は、七つの学校が一つになることと、七つの海が世界の大海を表現することが関連づけられ、子どもたちの飛躍が期待でき、多様な視点で物事を考えることのできる人に成長して欲しいという願いが込められる。

「虹の里学園」は、7校が一緒になることから虹をイメージし、一人一人が色々な色に輝き、笑顔あふれる学校になるようにという願いが込められ、違いや良さ、カラフルを大切にしている教育を行っていく学校がイメージできるという意見により、提案されました。

なお、選考された名称については、正式名称となるため、開校までに、福山市立学校設置条例の改正について、市議会の議決を経ることになります。

以上です。どうぞよろしくお願いたします。

三好教育長

御意見、御質問はありませんか。

金委員

8つの候補いずれも思いが伝わってくるんですが、私は、個人的には、以前15に絞っていた段階での「沼隈学園」が適していると思っていました。というのも、昔は、この内海町も千年村も熊野も山南もこのあたりの地域すべてが沼隈郡であったということで、沼隈に帰するということが、また、将来再編の要件を満たす学校が出てこないとも限らないということを考えて、近隣の学校と一緒にしても変えることがないように「沼隈学園」がいいのではないかと考えていました。

ただ、今回それは落ちています。

落ちると同時に、私は現地に行ってみたんですが、そのとき「これは、沼隈学園ではいけないな」と思いました。沼隈は確かに全体を網羅しているけれども、内海方面へ向かっていこうとしたときに見える、圧倒的な内海の景観を見ると、これは沼隈だけでは足りなかったなと素直に思いました。

今回8つの名前がありますけど、下から見てください。

「虹の里学園」は、7校が一緒になることと、虹が7色だから「虹の里」となっていますけど、虹はどこでもかかるものであるし、別にここ独自にあるものではないですよ。

7色ということが理由であるということであれば、日本では虹は7色ですが、欧米では5色であったり6色であったりと、日本の学校だからまあ別にいいかもしれないですけど、そういったところに引っかかりました。

次に、「七海学園」ですが、これも7校が1つになるということと、7つの大洋を考えてのことだと思いますが、ちょっと瀬戸内海の中での七海ということだと、規模というか、スケールが大きすぎるかなと思いました。これが海洋大学とかであれば、世界に羽ばたくという意味で「七海」というのもいいかなと思いますが、小中の段階でこれは少し規模が大きすぎるかなと感じました。

「想青学園」は、思いはわかるんですが、歴史的な裏付けとかに欠けるかなというところで、あまりインパクトが無かったです。

「くちなしの瀬戸学園」は、もともとこの「くちなし」というのは、「出口無し」というところから言うみたいですね。また、クチナシの花もイメージとしてあるのかもしれませんが、クチナシの花のイメージを合わせようと思ったら、クチナシの花弁の数は6弁が普通で、6個しかないの、少し適さないように思いました。

「青海学園」もあんまりピンときませんでしたね。海だけではないというか、内海の方からだったら合うのかもしれませんが、千年からは海は見えないわけですから、ちょっと全体に欠けると思いました。

「藤波学園」について、この「藤波」は内海大橋の手前の、福山側から来て右手に途切れ途切れに3、4箇所、合わせて300か400メートルぐらいの藤棚に由来があるかと思えます。ただ、この「藤」をうたった校歌というのは、千年小学校と千年中学校しかない。残りの学校は海がほとんどで、藤についてはないわけですね。

千年小学校だと「藤波におう」、千年中学校だと「藤波の千年の里」という言葉が出て、あとの学校にはどこにも藤が出てこないということで、これはあくまでも千年を中心とした人たちには馴染みがあるということなんだと思いました。「くちなしの瀬戸」についても同様ですが、全部を網羅するわけではないです。

「沼内学園」は、沼隈と内海を合わせて短く言っていますが、やっぱり、内海の「海」が消えてしまうのは、個人的にはもったいないですね。また、「沼内」だと、どこか別の地域の地名のように思えてしまいます。

最後に「沼隈内海学園」は、沼隈町と内海町が同じところに町になっているということもありますし、沼隈町と内海町が一緒になって学校を7つ再編して義務教育学校を作るところで、4文字にはなりますけど、歴史的なことを踏まえても、すっきりわかりやすいのではないかと思います。

ただ個人的には、最初に言いましたように、やはり沼隈学園がいいかと思いますが、この候補の中から選ぶのであれば、以上の理由から「沼隈内海学園」がいいと思います。

三好教育長

名前って、音であったり、字であったり、歴史的なものであったり、様々なものを込めますが、全部を込めないといけないというわけでもないでしょうから、音としての響きであったり、漢字の並びであったり、長さであったり、略した時の呼び方であったり、そういうことも含めて、考えていただければと思います。

ただいま金委員から、根拠も含めて非常に丁寧に説明いただきました。そうした考え方もとても大切だと思いますが、それぞれが感じられたり、

	<p>思われたりしたことを言っていた上で決めていければと思います。 ぜひ御意見いただければと思います。</p>
神原委員	<p>意見というよりは質問なんですが、「沼隈内海学園」について、「内海沼隈学園」の方がいいという意見はなかったんですか。</p>
藤井学校再編 推進室長	<p>316案をカテゴリー別に分類していきました。「沼隈内海」、「内海沼隈」、平仮名の「ぬまくまうつみ」や、「沼隈内海学園」、「沼隈内海義務教育学校」など、少しずつ表記が違う中で、「沼隈内海学園」という案が多かったのも、この候補に絞られていきました。</p>
神原委員	<p>金委員も言われたように、内海大橋のところに藤棚があって、時季になると、すごくきれいになる場所なんですが、沼隈町の方だと、子どもたちやお年寄りがピクニックとかに行かれているのをたくさん見ます。内海の方は、藤棚に行かれたりはしないんでしょうか。</p>
藤井学校再編 推進室長	<p>「藤波学園」は、316案の中でも、出された数の多かった候補です。内海の方も、愛着はあるのではないかと思います。</p>
金委員	<p>この学校の校歌は、今後どのように決めていくことになるんですか。</p>
藤井学校再編 推進室長	<p>校歌についても、開校準備委員会でどうやって作っていくかという話合いをしています。 最初は、地域ゆかりのある方で、作っていただける方がいらっしゃれば、その方をお願いしたいということで進めていきましたが、紹介していただける方がいらっしゃらなかったため、今は教育委員会へ一任されていて、検討しているところです。</p>
金委員	<p>校歌の中に、今出ている藤だったり、くちなしの瀬戸だったり、七海だったりといったニュアンスの言葉が入るように、募集されてはいかがかと思いました。</p>
藤井学校再編 推進室長	<p>校歌につきましても、校歌に入れたいフレーズや言葉を募集し、それを参考に作ってもらうような依頼の仕方をするようにしています。今回の校名に挙げられた言葉についても、参考にお伝えするようにします。</p>
横藤田委員	<p>私は教育委員として経験が浅いものですから、金委員の詳しい解説を聞いて、そういう捉え方もあるんだと思って聞いていたところです。 お聞きしていて思ったことが3つあります。 地域的な固有名詞があればいいということ、歴史的な背景があればいいということ、そして、一番大切なのが、今後、多くの学校が1つになっていくにあたり、あるべき姿を願うような名前がついていけば、なおいいのかなと思いました。 そういったところから言って、あまり地理的な背景のない名前はどうかかなというところではありますが、この中だとやはり、藤波であるとか、七海などがそれにあたるんですかね。 「沼隈内海」については、金委員の仰るように、いい名前だと思いますが、これは、子どもたちにとって、口に馴染みやすいものかなという思いがあります。「どこの小学校？」と聞いたときに、「沼隈内海」と答えるのは、舌が噛みそうにならないのかなという感じも少ししました。 だからこれがいいという案はないのですが、そういう捉え方もあるのか</p>

	<p>など。</p>
金委員	<p>沼隈の現地を、たまたま車で走ったときに看板が目に入ったのですが、「沼隈内海商工会」というものがありました。そこで、「沼隈内海」という言葉自体は、そうおかしな名前でもないのかなと感じました。</p> <p>ただ、1年生とかだと、もしかしたら喋りにくいというものもあるかもしれませんね。</p>
菅田委員	<p>私はやはり、歴史的な背景とか、地名が入っていて、地域の人に馴染みやすい名前がいいと思います。</p> <p>松永の遺芳丘小学校の校名を決めるときに、私たち委員にとっては「遺芳丘」というのは馴染みがない名前だけど、地域の人にとっては非常に大切にしている名前であるということで、この名前に決定しました。そういうところを考えて付けるとすると、私は「藤波」という言葉が、地域の人がすごく大切にしているものであるのなら、いいのかなとは思いました。</p> <p>ただ、片方の地域に寄っているという風に捉えられる可能性があるというのも、どうなのかなと思いますし、そう考えると「沼隈内海」なのかなとも思います。ただ、確かに、私も「沼隈内海」は長いような気がしますので、「藤波学園」の方がいいのではないかと感じました。</p>
金委員	<p>難しいですね。</p> <p>先ほども申し上げましたが、「藤波」が校歌で使われているのが、千年小と千年中だけで、他の学校では使われていない。海が主になっていて、藤は出てこない。また、沼南高校は、山南側になりますけど、藤という言葉は出てこないの、そこまで一般的ではないのかなと思います。</p> <p>千年は、人口が多いので、その方々にとって「藤波」が一般的だから多く出てきたのかなと思いました。</p> <p>7校が一緒になる中で、そこで「藤波」を冠するというのがどうなのかなと引っかかっている、わかりやすくするためには、「沼隈内海」の方がいいのかなと思います。確かに、長いですけど。</p>
菅田委員	<p>地域の方の気持ちがどちらにあるのかと考えると、確かに「沼隈内海」の方がいいかなというのも思うので、地域の方がどう捉えられているか、もう少し知りたいですね。</p>
藤井学校再編推進室長	<p>内海町の方には、「内海」であったり、「内」といった言葉を学校名に入りたいという思いを持たれている方が多くいらっしゃいます。</p> <p>「藤波」を出されているのは、大半が千年学区の方です。</p>
三好教育長	<p>今話にあったような、内海の方が言われている「内」の字を入れるのであれば、候補は上2つの「沼隈内海」か「沼内」のどちらかということになるんでしょうし、そういう名前をあえて入れずに、また全然違う視点で、歴史的なものとか地理的なのが全然関係ないような名前もありますので、そちらから選ぶという考え方もあると思いますが、そのあたりは、どうお考えでしょうか。</p> <p>入れるという話になれば、上2つのどちらがいいかという議論になると思いますが。</p> <p>そこまでまだ絞らずに議論しますか。</p> <p>「藤波学園」は、今出てきた意見だと、いい案だけど、少し千年に寄りすぎているんじゃないかということのようですから、候補としてはいかがかなという状況でしょうか。</p>

横藤田委員	この8候補からもう少し絞るというわけにはいきませんか。たとえば5つに絞るとか、4つに絞るとか。ここから一気に決めますか。
三好教育長	事務局から、この8候補の票数を参考までに教えていただけますか。
藤井学校再編推進室長	代表委員の絞り込みで15候補まで絞ったのですが、そこで、15候補の中から、5から8候補までということで各委員が投票し、8候補まで絞りました。その票数です。 「沼隈内海学園」は18票、「沼内学園」は12票、「藤波学園」は17票、「青海学園」は16票、「くちなしの瀬戸学園」は12票、「想青学園」は12票、「七海学園」は14票、「虹の里学園」は16票でした。
三好教育長	票数だけでみると、14票以上は5候補、16票以上は4候補ということになりますが、これを地域の方の思いが反映されている数として見ることもできるかもしれませんし、どうでしょうか。
横藤田委員	落としがたい候補がありますよね。
菅田委員	票数を見ると、委員の皆さんはそんなに「沼隈内海学園」が難しいとか、長いとか、思われていないようなので、そうすると「沼隈内海学園」でもいいのかなと感じました。 票数だけでいうと、「虹の里」と「藤波」と「沼隈内海」と「青海」が16票以上で多数派のようですけど、そうすると、地元の方の「内海」の字が入ってほしいという思いがあれば、「沼隈内海」でもいいのかなと。そこまで、長いとか、難しいとか感じていないから票が集まっているんでしょうから。 全然関係ない名前で、「虹の里」とか「青海」とかだと、ちょっと私はピンと来ないので、「沼隈内海学園」がいいのではないかと思います。 短く略して言ったり、ニックネームのようなものをつけたりとかもできますよね。
神原委員	私も、短く言うことを考えて、「内海沼隈学園」という案が出なかったか質問したんです。短く言うんなら「うつぬま」の方が言いやすいかなと思ったので。
横藤田委員	確かに「ぬまうつ」は言いにくいですね。
菅田委員	「ぬまうつ」は言いにくいですね。「ぬまみ」も言いにくいし。
横藤田委員	でも、やっぱり沼隈の方が先なのでしょうね。町の規模とか、人口とかを考えても。
神原委員	少しいいですか。 私は、「沼隈内海学園」でも、全然反対する気はないんですけど、ただ、なんとなく、そうやって2つの名前を合体して残すのって、対等なようで、力関係だったり、緊張関係だったり暗に表しているような気がしなくもないかなと思うんです。 例えば、どこぞの会社の合併とかで、会社の名前をくっつけて、ずっとくっつけたまま言ったりすることがありますよね。消費者からすれば、覚

えにくい、何のことかわからないような、ずらっと長い名前になるのって、結局何となくそういう力関係だったり、うまく融合できない部分が残っているから、そういう名前になっているんだというのが、見え隠れする部分もあるような気がします。

もちろん今は沼隈と内海のことを問題になっているから、この方々の気持ちや汲むことはもちろん大事だけど、これから学校再編が進んでいく中で、3つくっついたら、4つくっついたら、どうしていくのかというところが、引っかかっています。

じゃあ「藤波」かと言われると、それはちょっと千年に軸足が置いているというか、千年の意見を重んじすぎているかなという気もするので、少し悩ましいところで決めかねているところではあるんですが。

金委員

そういうところもあって、私は、廃藩置県のとくにできた「沼隈郡」が、福山の沼隈半島を全部網羅しているというところから、沼隈に回帰するのがいいのかなと思ったわけです。

今の神原委員が言われるようなことでいくと、「沼隈」が一番広がりがあるわけです。今後の再編の進行によっては、そこに全部入れ込んでいけるということだと思ったわけです。ただ、それはなく、この案の中で行くのであれば、沼隈と内海を合わせて言った「沼隈内海」だと思ったわけです。内海は、沼隈に比べたら人口は半分ですが、圧倒的な海があるというところを考えると、対等な感じが逆にするような気がします。

三好教育長

私は、今神原委員が言われた、会社の合併とか、名前の前後とか、良くも悪くも歴史をずっと引きずっていきますよね。だから、そういうことを考えない、「青海」とか「七海」のような名前の方が、個人的にはいいと思いました。

そこに歴史とか地理とか、そういったものが何も反映されないわけですが、これから未来へ向けて子どもたちが育っていく場所だという思いを込めていきたいとも感じています。

菅田委員

そういった話を聞くと、私も意見が揺れてきました。

それだったら、票は少ないけど、「想青」もいいのかなと思ってきました。

これは、若い子たちに未来を託すような思いで付けるのもありなのかなという気がしてきました。

金委員

迷いますね。

菅田委員

「沼隈内海」という名前になってしまうと、さっき神原委員が言われたようなイメージが付きまとうかもしれないと言われると、確かにそのとおりだなという思いもあります。

金委員

さっき横藤田委員が言われたような、候補を4つとか5つに絞るということは難しいですか。この会議で委員としての意見を踏まえて、もう一度地元で考えてもらうというのはどうですか。まどろっこしくなりますか。

三好教育長

スケジュールとしては、どうでしょうか。

藤井学校再編
推進室長

スケジュールとしては、開校時期を考慮し、今日決めていただければと思います。校名が決まったら校章の募集に入る予定です。

金委員 「想青」,「七海」,「虹の里」とかは,今までの小中学校では初めての名前になりますね。
今までは地域的な要素を考えた名前なので,例えば「七海学園」といったら初めてのケースになりますね。初めてが悪いと思っているわけではなくて,一つの考え方としてはいいのかもしれない。

横藤田委員 とりあえず,消去法で絞っていきませんか。
過去の歴史とか地名も大事ですけど,これから未来を見据えて,こうあるべきだということの方が,皆さんに納得もしていただきやすいかなと思います。また,どっちが先だとか後だとか,町が大きいとか小さいとかより,思いを込めた名前の方がいいのかもしれない。

三好教育長 その考え方だと,「青海」と「想青」と「七海」とかから選ぶことになりますか。

金委員 まだ,「はい」とは言いにくいです。
本当にそれでいいのかなという思いもまだあります。
「沼内」は,もう候補から削ってもいいかなと思います。少し略しすぎで,ピンと来ないですね。

神原委員 違う場所のような感じがしますよね。

三好教育長 この例でいうと,御幸と千田を合わせて「幸千中学校」としていて,「沼内」と同じパターンです。ただ,「幸千」の場合,音としても,字の意味としてもとてもいいんですが,「沼内」は,なかなか難しいですね。それなら「沼隈内海」の方がいいと思いました。

金委員 「くちなしの瀬戸」も,「出口無し」というもともとの語源からいくと,やっぱりちょっと違うような気がしますね。
「虹の里」も,特殊性があるわけでもなく,「虹の里」という名で前に向かっていくのかというと,メッセージ性も少し弱いかなと思います。
「七海」は,メッセージ性ありますね。大海へ向けて行こうという。
「青海」もそうですよね。ただ,「青海学園」というと,私は個人的には,中国の青海省が頭に浮かびます。ただ,これは私が個人的にそう思っただけで,そういう意味ではない名前なので,問題はないと思います。
あと,やっぱり「藤波」は,少し寄りすぎのような気がしますね。

菅田委員 変なことを聞くかもしれないんですが,瀬戸内海の海って,「青」ですか。

金委員 確かに緑っぽいんですけど,信号と一緒に,緑の信号も青と言いますからね。

菅田委員 瀬戸内の海を表すときに,「青海」という表現を使いますか。

金委員 それは,あまり思わないでしょうね。

菅田委員 そう思うと,やっぱり少し違うのかなと思います。

神原委員 でも,「青」は海だけじゃなくて,「若者」をイメージしているんじゃないですか。

菅田委員 この「青海」の青は、海の青を表しているんじゃないですか。こっちの「想青」の青は若者の青かもしれないですが。

金委員 神原委員が言われるのは、「青海」の青も、「想青」の青も、若者だと捉えればいいということなんじゃないかと思えますよ。

横藤田委員 やはり「青海」というと、山陰の方の荒海をイメージしてしまいますね。

菅田委員 瀬戸内の海ではないですよ。

横藤田委員 「想青」は、青年時代を想うというのが、奥深さを感じるような名前ですね。

菅田委員 最初は、この候補ではないなと思っていましたけど、こうして色々と考えていくと、一番いいような感じがしてきました。

横藤田委員 「七海」も悪くないですけど、女の子の名前みたいですよ。そこで被ってしまうかなというのがちょっとどうかなと。

金委員 この「想青学園」の名前は、どんな理由が多く書かれていましたか。

藤井学校再編推進室長 「想青学園」は、資料記載の理由や、「色が入っているのがよい」「青という字には色々な意味があるので、その想いを持って学校生活を送ってほしい」「様々な意味や青春というイメージがある」といった理由が挙がっています。

金委員 この青を想うというのは、山が加わってもおかしくないですよ。青というのは、海ばかりではなくて、青い山というのでも表すことができますし。
ただ、今後何十年も続く名前なわけですから、雰囲気では流されないように、本当にこれがいいのかというのは、よく考えた方がいいですよ。
青というのは、若さであったり、海であったり、山であったり、そういったいろんな意味、想いが表れているというような理由付けが大切だと思います。
海だけではなくて、山とか若さとか、他の意味も入れた方がいいと思います。

菅田委員 先ほども申し上げたんですけど、最初は、この候補ではないと思っていました。

金委員 私も思っていました。

菅田委員 ただ、色々話をしていく中で、今度は、逆に一番しっくりくるような気がしています。

金委員 私も真逆になりましたね。
藤の花の色は、藍でしょうかね。
欧米では虹の色に藍はなくて、青に含まれています。
藤も青に意味を込められるような気がしますね。

ただ、本当にこれに決めるかどうかは、個々の方の納得度を確認する必要はあると思います。

横藤田委員

私の最終的な意見としては、まず「虹」はないかなと思っています。偶発的にできるものだし、一瞬で消えますから。また「くちなし」も、語源の「出口無し」が、広がりがないかなというところで候補からは消えました。また、「沼内」も、みなさんが言われたような理由でないですし、「青海」は、単純すぎる気がして、東京の青梅を彷彿とさせてしまいます。さっき言ったように、「七海」は女の子の名前みたいなので、独創性というところで見ると、やはり「想青」なのかなと思います。

地域が一緒になるので、それを大切にするのは当然だけど、ずっと名前に残しておくというのは、どこかのドラマで見たような、旧なんとかと旧なんとかみたいに、ずっと引きずってしまう要因にもなりえますし、そういうところから外れた名前というのがいいような気がします。

「藤波」もいいと思ったんですけどね。藤の花というのは、1つだけできれいなわけではなくて、みんなが寄ってきれいという意味合いで、ただそれがたまたま、千年の町にあったということでもいいかなとは思っていました。ただ、もっと大きい面からみると、やはり「想青」が適しているような気がします。

他の県内とか、中国地方とかに、同じ名前の学校はあるんですか。

藤井学校再編
推進室長
神原委員

公立の学校には同じ名前の学校はありませんでした。

私は、最初は、さっき横藤田委員が言われたように、藤の花が房になって花が咲くので、あと波が海を意味するということで、「藤波」がいいのかなと思っていたのですが、今はちょっと「想青」に傾いています。

横藤田委員

本当は私も「藤波」がいいと思っていました。

ただ、千年の意見だけを取ったように捉えられるのは好ましくないかなと。

藤の花の房のイメージとかを理解してもらえるのならいいのかもしれませんが。

金委員

もし「想青」だとすると、「義務教育学校 福山市立想青学園小学校、想青学園中学校」ということになるということですか。

藤井学校再編
推進室長

この学校は義務教育学校なので、「福山市立想青学園」となります。

金委員

鞆の浦学園と同じですね。失礼しました。

義務教育学校には「学園」を付けるとか、決めておくことはいいかもしれないですね。

ただ、その「青」の意味については、海だけではなく、若さとか、藤とか、山とか、その説明はしっかりしていかないと、「想青って何のこと」となってしまうかもしれないので、そこをきちんと説明いただけるのであれば、私は「沼隈内海」一択だった案は却下して、「想青」でも良いかなと思っています。

三好教育長

ありがとうございます。

その説明については、事務局で文章を作りますので、見ていただいて、また御意見いただければと思います。

他にいかがですか。

全教育委員 (なし)

三好教育長 ないようですので、お諮りします。
議第50号の名称については、「想青学園」として可決してよろしいで
しょうか。

全教育委員 (異議なし)

三好教育長 御異議ないようですので、議第50号の名称については「想青学園」と
して可決しました。
それでは、これより秘密会とします。
傍聴人は退席してください。

(秘密会部分 削除)

予定しておりました議案は全て審議いたしました。他に何か、ありま
すでしょうか。

全教育委員 (なし)

三好教育長 ないようですので、本日の教育委員会会議はこれで終わります。

【閉会時刻 午後5時35分】